

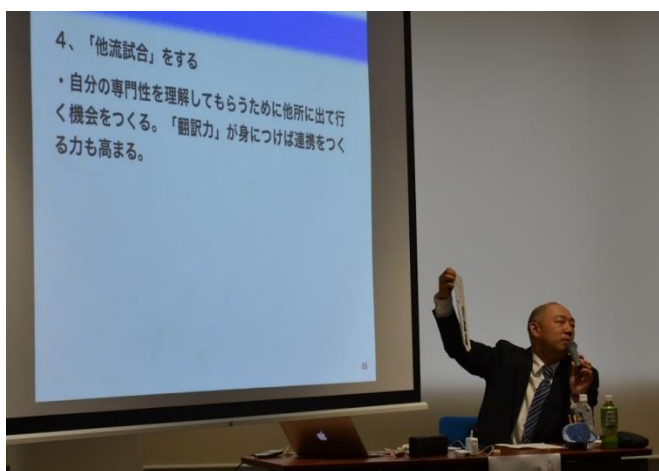
北海道地域福祉学会ニュース No.44

発行日：2015年8月15日

編集：北海道地域福祉学会広報委員会（委員長 忍 正人）

【報告】第1回定例研究会を開催しました

2015年6月6日（土）北星学園大学を会場に開催された第1回定例研究会には大谷大学文学部社会学科講師の赤澤清孝氏にご講演いただきました。



厚生労働省は2025年を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制「地域包括ケアシステム」の構築を推進しています。この地域包括ケアシステムを進めていくためには、福祉、介護、医療、看護、リハビリテーション、保健など異なる専門職の専門性を理解し互いに尊重し合いながら連携することが不可欠といえます。



今回の研究会では、31名の参加者により「多職種連携のための関係強化の「コツ」を学ぶ～地域包

ケア推進における多職種連携強化を目指して～」のテーマのもと、赤澤氏が被災地や若者に対して行っている活動事例が紹介され、多職種連携のコツとして、1. ネットワークの3原則（①自分ができることは自分だけでしない。②他人に迷惑をかけることを恐れない。③一人ではとてもできそうもないことをする。）。2. 「個人のつながり」から「組織間のつながり」へ。3. 自分で「広場」を主催する。4. 「他流試合」をすることをご教授いただきました。

【お知らせ】会員による発行物の紹介

中田雅美会員が博士論文をもとに執筆された『高齢者の「住まいとケア」からみた地域包括ケアシステム』（明石書店、4,200円＋税）が2015年3月に刊行されました。



高齢化が進展する日本で、高齢者の「住まいとケア」はどう保障されるべきなのか。本書は、「地域包括ケアシステム」を、一人ひとりにとっての地域で最期まで住み続けるための体制づくりととらえ、その構築に向けた検討課題を明らかにすることを目的に、高齢者施策の変遷や現状のレビュー、地域の実情に応じた社会福祉法人における地域包括ケアシステムの実践例の分析と考察、デンマークと日本の地域包括ケアシステムの比較検討を行っています。（以下目次）

序章
第1章 高齢者の「住まいとケア」政策の変遷
第2章 高齢者の「住まいとケア」施策の現状分析
第3章 社会福祉法人きらくえんによる地域包括ケアシステム
第4章 デンマークにおける地域包括ケアシステム
終章
おわりに

【お知らせ】共同連全国大会 北海道大会

日時：2015年9月12日(土)～13日(日)

場所：北星学園大学C館

参加費：2日間>一般3,500円、学生2,000円

1日のみ>一般2,000円、学生1,000円

内容：第1日目(9月12日)受付12:00～

記念講演 辛淑玉さん

記念鼎談 辛淑玉さん、結城幸司さん、安積遊歩さん

シンポジウム「生活困窮者支援と共同連運動」

第2日目(9月13日)受付9:00～

分科会、閉会式

主催：特定非営利活動法人共同連/第32回共同連全国大会北海道現地実行委員会

URL: <http://kyodoren.org/>

問い合わせ：特定非営利活動法人札幌障害者活動支援センターライフ

TEL 011-633-6666/FAX 011-613-9323

E-mail: kyodoren@npolife.net

URL: <http://www.npolife.net/>

▶ 事務局より

☑ 通常総会が終了いたしました

2015年6月6日(土)に北海道地域福祉学会2015年度通常総会を開催いたしました。当日は18名の会員が出席し、全ての審議事項が承認されました。総会議事録はウェブサイトの会員ページ<http://www.hacd.jp/join/member>で確認することができます。閲覧にはパスワードが必要です。パスワードをお忘れになった方は事務局までご連絡ください。

☑ 地域福祉研究第18巻の発行について

2014年度よりホームページ上に掲載されることとなりました北海道地域福祉研究第18巻は、現在、著者による校正作業を依頼し、次回研究会頃(9月26日)に掲載予定して最終点検作業を進めております。投稿いただきました皆様には大変ご迷惑をおかけしておりますが、ご理解の程よろしくお願ひ申し上げます。

☑ 会員状況(2015年8月15日まで)

【新規入会(敬称略、入会順)】

宮本大毅(岩手県立大学4年)、鎌田亜希(さっぽ

ろ青少年女性活動協会)、高田毅(北海道社会福祉協議会)、千田忠、山名田静(青年海外協力隊)、丸山正三(一般社団法人はるか地域生活訓練センターこころ)、住吉直樹(専門学校日本福祉学院)以上7名(現会員数:128名)

☑ 業務委託や講師等の派遣調整を行います

本学会では、学会役員及び会員の研究活動を社会還元するため、各種の業務委託や講師派遣等を実施しています。事務局において調整やご相談に応じておりますので、各方面への周知協力並びに事業へのご協力をお願いいたします。

2013年度には登別市社会福祉協議会、新ひだか町社会福祉協議会の各事業に講師を派遣したほか、2014年度には、北海道社会福祉協議会が主催する「ボランティア担当市区町村社協向け相談会」(全3回)に対し、アドバイザーを派遣しています。

☑ 学会費の納入をお願いします

学会規約に基づき会費は年額5,000円、会費を2年以上滞納した会員は理事会にて退会したとみなすことができると定められておりますが、より多くの会員の皆様と共に北海道の地域福祉研究を推進するため、会費の納入にご協力をお願いいたします。

ご連絡がない状態が続きますと退会となり、再び会員登録を行う際には未納分の納入をご依頼することとなりますので、ご注意願います。

☑ 会員情報の変更をご連絡ください

勤務先や所属先、役職等、会員情報登録に変更があった場合は、事務局にご連絡をお願いいたします。会員情報の変更用紙は学会ホームページよりダウンロードが可能です。

☑ 2015年度学会行事予定

第2回定例研究会 9月26日(土)

全道研究大会 11月14日(土)

第3回定例研究会 2月13日(土)

☐ 事務局(事務局員:篠原・佐藤・畠山)

〒004-0022 札幌市厚別区厚別南2丁目7-28

一般社団法人 Wellbe Design 内

TEL: 011-801-7450

FAX: 011-801-7451

Eメール: info@hacd.jp

URL: <http://www.hacd.jp>